

平成31（令和元）年度事業報告書

特定非営利活動法人子どもセンター帆希

1. 子どもシェルター運営事業

（1）シェルター事業

平成31年・令和元年度は、入所に関する相談や申込みが53件あり、そのうち15人が入所しました。新規入所人数が例年に比べてやや少ないのは、前年度入所の子ども5名が入所している状態から新年度がスタートしたこと、トイレや階段下収納工事や事務室整備を実施したこと、3月からは新型コロナウイルス感染症予防のため、1名1室利用を厳守したことなどが要因としてあげられます。新規入所人数はやや少ないものの、前年度から引き続いて入所していた子どもを合わせると今年度の入所人数は延べ20名、年間通じてほぼ満室状態での運営となりました。

今年度特徴的だったのは、他県からの申込件数が17件、このうち他県のシェルターからの相談が4件あったことです。全国的にシェルターの数が増え、連携が進んできていることが背景にあるといえます。

今年度新規入所し、年度内に退所した子どもの在籍日数は、最短で26日、最長で245日、一人当たり平均すると90日程度となり、概ね3か月程度の利用となりました。入所期間が長期化するケースは多く、在籍日数が100日を超えた子どもは5名いました。長期入所者への支援プラン、退所先の確保などが課題となります。

また、医療ケアが必要な子どもも多く、内科、皮膚科、耳鼻科、婦人科、精神科などの通院も行っており、今年度は手術・入院が必要となったケースもありました。

退所先としては、家族・親族宅への引き取り、自立援助ホーム入所の他に、住み込み就職もあったため、就職支度金の支給を実施しました。

【平成31年・令和元年度 入所相談件数及び入所件数】

	問い合わせ元別件数				総件数	入所件数
	本人 (知人・親族)	児相	弁護士	その他		
H31.4	0	2	0	0	2	1
R01.5	0	3	0	3	6	4
R01.6	1	1	1	1	4	0
R01.7	1	4	1	1	7	1
R01.8	0	1	3	2	6	2
R01.9	2	2	0	2	6	2
R01.10	0	2	0	1	3	0
R01.11	3	1	0	1	5	1
R01.12	2	2	0	1	5	0
R02.1	1	1	0	1	3	3
R02.2	0	2	0	0	2	1
R02.3	1	0	3	0	4	0
合計	11	21	8	13	53	15

※その他…市町村、病院、他県の子どもシェルターなどの関係機関

(2) 研修

① 職員研修

生活支援技術向上のため、職員を対象とした研修を次のとおり実施しました。

特に今年度は、子どもたちへの理解を深めるため、ケース検討を実施したり、トラウマ・解離について学ぶ機会を設けました。

- ◆令和元年4月22日 全国自立援助ホーム長研修会
施設長受講
- ◆令和元年6月10日 ケース検討会
(講師：稻垣美加子理事)
- ◆令和元年9月25日 子どもの権利～施設の暮らしにおける権利擁護～
(講師：中溝明子理事)
- ◆令和元年12月11日 ケース検討会
(講師：稻垣美加子理事・山中正雄理事)
- ◆令和2年2月18日 トラウマや解離のある子への支援
(講師：小西聖子先生（武蔵野大学）)

② ボランティア継続研修（職員研修も兼ねる）

職員及びボランティア登録者を対象とした研修を次のとおり実施しました。受講者は18名でした。研修後、職員とボランティアの交流会を開催しました。

- ◆ 令和2年2月4日 心の筋肉体操「レジリエンス」研修
(講師：笑幸力開発舎 Smile Labo 國友幸恵)

③ ボランティア研修

新規ボランティアの募集を兼ねた研修を企画検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を見合わせることとし、来年度に実施することと致しました。

2. 子どもの権利に関する広報・啓発事業

平成31年・令和元年度は、多くの講演会やシンポジウムにおいて、児童の置かれている状況や子どもシェルターの役割などをお伝えしたり、また、新聞記事で当法人のシェルター事業をご紹介頂いたりと、広報啓発の機会を数多く頂きました。

また、新たに「クラウドファンディング」を開始し、子どもシェルターの役割や重要性を広く知ってもらうための取り組みを始めました。支援者に対しては、毎月、メールマガジン「はるつけ荘だより」を発行し、はるつけ荘の四季折々の行事などをお伝えしています。

年度末にはシンポジウムを企画し、チラシの作成・配布、クリアファイルの作成などシンポジウム開催に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大要望の観点から、やむなく開催見合わせ、来年度へ延期することにいたしました。

- ◆令和元年7月3日 千葉県弁護士会子どもの権利委員会コタン研修
研修講師 柏原施設長・中溝理事
- ◆令和元年8月19日 千葉県教育委員会特別支援学校フォローアップ研修Ⅱ
体験研修の受け入れ
- ◆令和元年8月22日 千葉県退職公務員連名千葉支部だより45号
「愛のタオル一本運動」寄付先として紹介記事掲載
- ◆令和元年9月5日 公益信託ちばぎんハートフル福祉基金 助成金交付式
- ◆令和元年10月16日 一般社団法人政経俱楽部連合会千葉県支部 106回例会講演
「DV・虐待被害を受けている子供たち、保護活動について」
講演講師 松田理事
- ◆令和元年10月20日 ニューズレターno.5 発行
- ◆令和元年11月22日 千葉県DV被害者支援連絡会議 出席
- ◆令和元年12月1日 社会福祉法人千葉いのちの電話30周年記念講演会
シンポジウム「若者たちは何を考え、何を求めているのか」
シンポジスト 中溝理事
- ◆令和2年2月5日 クラウドファンディング開始
「居場所を失った子どもたちの緊急避難場所「子どもシェルター」運営のために」
<https://community.camp-fire.jp/projects/180969/preview?token=36rrfzzu>
- ◆令和2年2月20日 東京新聞「こどものあした」記事掲載
- ◆令和2年2月23日 NPO法人子育てネットワークゆくくく主催
シンポジウム「みんなで、子どもを大切にする社会づくりを！」
シンポジスト 村山理事
- ◆令和2年3月16日 産経新聞「虐待を受けた少女に安らぎを」記事掲載

【中止】 令和2年3月7日 シンポジウム「子どもシェルターと児童虐待
～子どもたちの安全な居場所をめざして」

3. その他 一 子どもシェルター間の連携

- ◆ 令和元年11月23日、24日 全国ネットワーク会議 in 和歌山 に参加

3. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)			
子どもシェルター運営事業	シェルター運営のための施設整備、人材育成	【施設整備】 令和元年 5月、6月、12月 【人材育成】 令和元年 4月22日 6月 6日 9月25日 12月11日 令和2年 2月 4日 2月18日	千葉市内	20	子どもシェルター職員及びボランティアスタッフ 20名	1923			
	子どもシェルターを運営し、居場所のない子どもを引き受ける	随時			居場所のない子ども 20名				
	児童相談所、女性サポートセンターとの協議会	令和元年 11月22日			女性サポートセンタ他35名				
困難を抱えた子どもに対する法的支援活動事業	シェルター入所の子どもに対する法的支援	今年度は実施せず							
未成年後見に関する事業	未成年後見人の受任	今年度は実施せず							
子どもの権利に関する広報・啓発事業	子どもシェルターの広報のためにシンポジウムを開催する	中止 (令和2年3月 7日開催予定)	千葉市内	10	子どもの居場所に関心のある一般市民	118			
	ニュースレター・リーフレット作成等普及啓発活動	令和元年 10月20日 その他随時	法人事務所	7	子どもシェルターに関心のある不特定多数	351			
	市町村の児童虐待担当者向けの説明会	今年度は実施せず							

(2) その他の事業

なし